

筑波大学菅平高原実験センター 利用報告書

平成 28年 11月 29日

貴センターを利用して行った実習・セミナーが終了しましたので報告します。

実習名 (セミナー名)	野外生物学実習					
利用 期間	自 平成 28年 8月 5日 ~ 至 平成 28年 8月 7日					
	区 分	教 員	大学院生	学部学生	その他	備 考
利用者	人 数	2	4	7		
うち 受講者	人 数					

1. 実習・セミナーの内容について、簡潔にお書きください。

野外における植物・昆虫の記録・捕獲調査方法を学び、調査を行いデータを取得、解析し、自然を把握する能力を身につけることを目標とする。見つけ取り法による飛翔性昆虫類の調査、ピットフォールトラップ法による地上性昆虫類相の調査、およびトランセクト法による植生調査を行った。確認・捕獲した植物・昆虫は可能な限り同定した。

2. 成果をお書きください。（可能であれば写真なども該当シートに添付してください。）

センター内で多く種の昆虫を捕獲し、種同定を行えた。また、センター内で開花している多くの植物種を確認した。これらの種同定を行う過程で学生が野外の生物に対する知識を深めることができた。

3. 当センターをご利用いただいた感想、ご要望などご自由にお書きください。

実験室と調査できる場所が非常に近く、野外での植物・昆虫の観察を行う上で非常に良い環境だと感じています。現在の施設利用が継続されることを強く要望いたします。

4. 当センターは、「教育共同利用拠点」としての実習等の利用状況・概要をホームページ等で公開しています。上記1、2、3で非公開を希望される内容がありましたらお知らせください。

担当教員 丑丸敦史・高見泰興

所 属 神戸大学発達科学部

職 名 教授・准教授